

せとものフェスタ2026
瀬戸市美術館特別展

瀬戸染付の世界

— 鬼頭コレクション —

前期 4.18 [土] - 6.7 [日]

後期 6.13 [土] - 7.26 [日]

前期・後期で一部作品入れ替え有

【開館時間】9:00~17:00 ※入館は16:30まで、4/18は10:00開館

【休館日】5.12(火)、6.8(月)~6.12(金)、7.14(火)



《染付桜花文台鉢》
川本峯吉(初代) 明治時代前期(19世紀後期)
口径24.2(通期展示)

The World of Seto Sometsuke



《上絵金彩富士図蓋付壺》
川本半助(六代)、七宝会社画
明治時代前期(19世紀後期)
高さ31.8(前期展示)



《染付鳳凰文水屋瓶》
川本半助(五代) 江戸時代末期(19世紀中期)
胴径30.1(通期展示)



《染付山水図芋頭水指》
享和年間(1801-04) 胴径17.3(通期展示)

【入館料】

一般:500円(400円)

高大生:300円(240円)

※()内の入館料は20名以上の団体の場合
※中学生以下、妊婦、65歳以上、障害者手帳(マイロID可)をお持ちの方は無料
※後期の会期中に前期の半券をお持ちの方は団体割引料金で入館いただけます。

主催:大せともの祭協賛会、せとものフェスタ2026実行委員会
瀬戸市美術館、公益財団法人瀬戸市文化振興財団
助成:公益財団法人瀬戸信用金庫地域振興協力基金



瀬戸市美術館
Seto City Art Museum

〒489-0884 愛知県瀬戸市西茨町113-3
TEL 0561-84-1093 / FAX 0561-85-0415

瀬戸染付の世界

— 鬼頭コレクション —

瀬戸への愛、ここに結実——

江戸の名工から明治の輸出作品まで、珠玉の96点。

本展は、故鬼頭聖宜氏の膨大なコレクションの中から、令和7年にご寄贈いただいた瀬戸染付をはじめとする96点を展示するものです。鬼頭氏の瀬戸関連のコレクションは江戸時代後期の名工川本半助を中心に、瀬戸染付草創期の優品から、明治時代の輸出作品までと、その質、量、時代ともに大変充実したものとなっています。こうした鬼頭氏の長年にわたる蒐集活動と瀬戸焼への深い愛情に敬意を表し、今回のご寄贈を記念して全作品96点を二期に分け展示します。



《瑠璃釉彫花彫牡丹獅子文手桶》
川本治兵衛(三代) 江戸時代後期(19世紀中期)
高さ35.8(前期展示)

瀬戸染付の歴史【江戸～明治時代】

▶江戸時代(1603～1868年)

瀬戸染付の始まりと発展

瀬戸における磁器生産の始まりは、享和元年(1801)に加藤唐左衛門を中心に開発がすすめられ、享和3年(1803)に16軒の窯屋が陶器製造から磁器製造へ転業したことに始まるとされています。しかし開発当初の瀬戸の磁器は、肥前の製品と比べると品質が劣るものでした。そこで文化元年(1804)から4年(1807)にかけ後に磁祖となる加藤民吉が九州へ修業に赴くこととなります。そして民吉がその成果を伝えたことで瀬戸の磁器生産技術は向上し、江戸時代後期～末期には、肥前にも劣らない品質となり、尾張藩の一大産業として発展していきます。



《染付人物図鉢》
川本半助(五代) 江戸時代末期(19世紀中期)
口径24.8(後期展示)

▶明治時代(1868～1912年)

国内外へ広がる瀬戸染付

明治時代に入ると、尾張藩の保護と統制が解け、自由競争の時代となります。新興勢力の窯屋も現れ、その数は増加していきました。窯屋たちはこぞって海外進出を目指し、輸出品の製作や万国博覧会への出品などを目指し、華やかな作品が数多く生み出されていきました。そして海を渡っていった瀬戸染付は、欧米に影響を与えていきます。一方で、欧米からの影響や技術の導入も行い、瀬戸染付は時代に合わせて変貌していくこととなります。



《染付草花図切子形蓋付壺》
明治時代前期(19世紀後期)高さ31.1(後期展示)

※作品は全て瀬戸蔵ミュージアム蔵

関連事業 ※事前申し込み不要、要入館料

2026
4/25(土)・5/24(日)
6/27(土)・7/25(日)
いずれも午後1時30分～

ギャラリートーク
※学芸員による作品解説
場所:美術館展示室

同時開催の企画のご案内

2026
4/18(土)～6/7(日)

せとものフェスタ2026 瀬戸市美術館特別展
第5回瀬戸・藤四郎トリエンナーレ
グランプリ受賞者「内田明美展」

2026
6/13(土)～7/26(日)

瀬戸市美術館企画展
酒井智也展 世|回

近隣施設のご案内

- ▶瀬戸蔵ミュージアム(TEL.0561-97-1190)
企画展「新出土品展-尾張旭市・長久手市・日進市の窯跡調査の記録-」
1月31日(土)～6月28日(日)
- ▶瀬戸市新世紀工芸館(TEL.0561-97-1001)
展示棟企画展「やきもの の いきもの。いろいろ」
4月1日(水)～6月28日(日)
- ▶瀬戸染付工芸館(TEL.0561-89-6001)
企画展「余白の余韻」
4月4日(土)～7月26日(日)
- ▶愛知県陶磁美術館(TEL.0561-84-7474)
企画展「茶の饗宴-和洋茶器くらべ」
3月20日(金・祝)～5月17日(日)

瀬戸市美術館 Seto City Art Museum

〒489-0884 愛知県瀬戸市西茨町113-3 TEL.0561-84-1093

アクセス

電車：名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅下車から徒歩13分
自動車：名古屋瀬戸道路「長久手I.C.」から約20分
東海環状自動車道「せと赤津I.C.」から約10分

無料駐車場448台



瀬戸市美術館 /
(公財)瀬戸市文化振興財団HPはこちら
<https://www.seto-cul.jp/>



瀬戸市文化センター

